静岡
ユースサッカー
THE YOUTH SOCCER

1月1日火曜日
昭和49年（1974年）

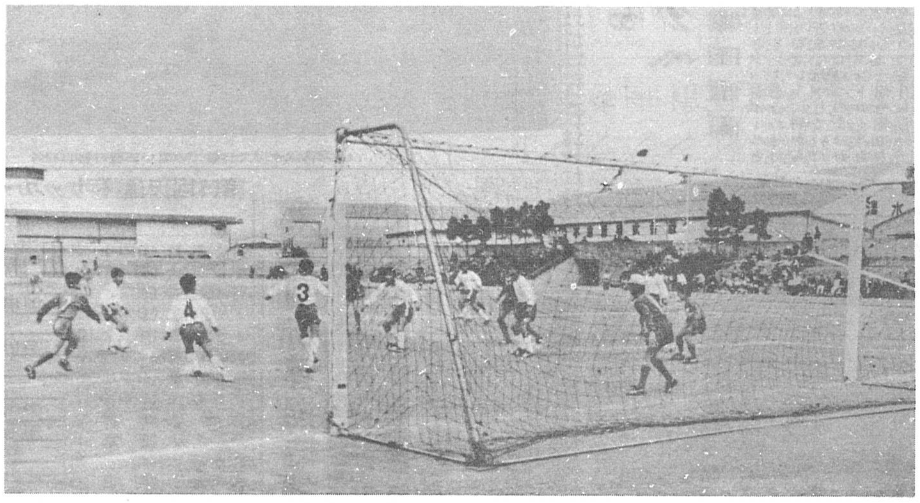
発行所
静岡県清水市サッカー協会
発行人　協会理事長堀田哲爾
編集人　サッカーニュース社
二本木一夫
清水市住吉町9－6
電話（0543）67-1970（清水ゴール）
編集専用電話66－5282（代）

PEPSI

全国高校サッカー親善試合
清水大会開催決定！

清水市協会は同協会主催で今年三月から毎年「全国高校サッカー親善試合清水大会」を開催する事に決定、その具体的準備に取りかかっている。大会は地元清水、静岡地区の高校八校に全国各地区強豪八チームを招き計十六チームを四ブロックに分けてリーグ戦を行い、各ブロック一位二位チーム八チームのトーナメント及び三位四位チームのトーナメント（敗者復活戦を含む）合計四十八試合を行うもので、今年度招請予定チームには習志野高、浦和西高、浦和南高、帝京高、児玉高などこれまで毎年清水市を訪れている関東地区の強豪チームをはじめ、広島、関西地区にも呼びかける予定で四十九年度高校サッカー界の趨勢を占うハイレベルの熱戦が期待される。大会は三月二十七日から三日間、清水市営競技場を中心会場として行われる予定であるが、これでまたサッカー清水の名物が増えそうである。

'74第六回清水JC大会開幕！



本年度の参加は百五十七チーム！

第六回清水青年会議所主催清水少年少女サッカー大会は一月十二日より五日間、決勝は一月二十日（日）市営グランドにて開催されるが、このほどその組合わせが決定した。庵原郡の参加をふくめ百五十七チームとなり年年増加の道をたどって来ている。

恒例のJC対少年の試合も今年はジュニアーと対戦することになっているがJC会員も好試合を見せようと、連日トレーニングにはげんでいるので当日が楽しみである。

組合わせは次の通り。

全清水少年サッカーの韓国遠征が決定！

昭和四十八年度、各地各種大会で活躍した全清水サッカースポーツ少年団は三月二十三日より五日間、韓国日曜蹴球会の招きで日本代表チームとして遠征することに決定した。日本サッカー協会理事会で正式に決定したのは十二月末であったが、選手は遠藤キャップテン以下二十名で八月の全国少年サッカー大会、関西フェスティバルで優秀な成績を残したメンバーである。

清水青年会議所も今回の交歓会には全面的に協力、特に清水市と姉妹都市となっている仁川との交流にはJCの交歓会を兼ね最大の歓迎を受けるものと思われる。

具体的に団員、及び役員については二月に発表となるが、少年チームについては役員九、選手二十一、父兄七、JC三の計四十名の選手団が清水市サッカー協会より発表された。

なお青年会議所関係の団長も二月に発表となる。

藤枝東の活躍期待！
決勝戦は一月八日

県内の死闘に勝った藤枝東は全国高校選手権大会に出場するが、組合わせからいって準決で韮崎、神戸の勝者と当たり、まず決勝進出はまちがいないであろう。

FWの中心中村、中盤の内藤、平木のユース候補選手も元気よく〝春弱くとも冬強い〟のジンクス通り静岡県代表として活躍を期待したい。（SBSTVで全試合放映）

全国高校サッカー選手権大会

（埼　玉）浦　和　西
5日う
（西中国）岩　国　工
3日長②
（東九州）大　分　工
6日長
（紀　和）和歌山北
4日長
（神奈川）相模工大付
5日う
（南四国）高　知　工
4日長
（北奥羽）五　　　戸
7日長
（広　島）広　島　工
4日長
（愛　知）岡崎城西
5日う
（北　陸）三　　　国
4日長
（東関東）古　河　一
6日長
（東　北）郡　山　商
3日長②
（北九州）福　岡　商
5日う
（大　阪）北　　　陽
8日長（決勝戦）
（東　京）本　　　郷
5日長
（兵　庫）神　　　戸
3日長
（三　岐）四日市中央工
6日長
（西奥羽）秋　田　商
4日う
（東中国）米　子　工
5日長
（甲信越）韮　　　崎
4日う
（西九州）島　原　商
7日長
（北四国）東　予　工
4日う
（北海道）室蘭大谷
5日長
（北　越）新潟明訓
4日う
（南九州）鹿児島商
6日長
（京　滋）甲　　　賀
3日長
（北関東）宇都宮工
5日長
（静　岡）**藤　枝　東**

【注】「長」は長居競技場「長②」は長居第２グラウンド「う」はうつぼサッカー場

あけまして
おめでとう　ございます

73年の清水市サッカーは清水東高のインターハイ３位，全清水サッカースポーツ少年団の全国大会での活躍，そして代表選手の国体の優勝と，数々の歴史を残してくれました。

74年の年頭にあたり，清水市サッカー協会の組織の改革と社会法人へのはたらきかけと，〝ゆりかごから墓場まで〟のサッカー愛好家の集団としての意識を強め，役員がサッカーできたえたチームワークをもって運営にあたりたいと思います。　本年もよろしくお願い申し上げます。

1974年　元旦

清水サッカー協会

会　長	栗田順作	ナイター部長	鈴木達郎
副会長（高校）	長沢裕二	高校生部長 社会体育推進委員長	苦米地康文
〃　（中学）	小池博夫	中学生部長	小林芳夫
〃　（少年）	中島　厳	少年団部長	鈴木石根
理事長	堀田哲爾	市リーグ部長	狩野　茂
副理事長	安間　宏	全清水中学	浄見元紹
総務委員長	清水博史	全清水少年	押見美知枝
庶務委員長	小花公生	ユースコーチ主務	望月史郎
技術委員長	望月保次	全清水少年育成会長	杉山　繁
審判委員長	杉山茂樹		
社会人部長	杉山　肇	サッカーニュース	二本木一夫

四十八年度
少年スポーツテストの結果発表！

昨年スポーツテストとサッカー選手との関係について研究した結果を発表したが非常に好評であった。

今年度は女子サッカー選手とスポーツテストの結果をまとめてみたので後日報告したいと思う。

今回は清水市内で百点満点を取った少年について発表したいが、特に岡地区には素質のある少年がいるにもかかわらず、スポーツ面で出て来ていない点が目についた。

以下スポーツテスト百点得点者。

昭和48年度清水市少年スポーツテスト　100点得点者

5年	男	岡	中山和昭	6年	男	庵　原	西子和宏
5年	男	有　二	松村哲義	〃	〃	袖　師	望月明秀
5年	女	岡	滝ます美	〃	〃	〃	牧田善明
6年	女	中河内	青木よりえ	〃	〃	三保一	佐藤宗昭
〃	〃	庵　原	小林千枝子	〃	〃	〃	与那峰勉
〃	〃	有　二	山本真美	〃	〃	有　一	伊藤憲彦
〃	〃	岡	相川こずえ	〃	〃	不二見	牧田和明
〃	〃	辻	野田絵津子	〃	〃	清　水	三輪雅之
〃	〃	高　部	生子知津子	〃	〃	〃	植田洋之
6年	男	興　津	岡村幸之助	〃	〃	〃	鈴木浩之
〃	〃	浜　田	梅原一真	〃	〃	岡	島津正樹
〃	〃	高　部	岩辺　薫	〃	〃	〃	山口　浩
〃	〃	〃	熊谷賢司	〃	〃	〃	望月信之
〃	〃	庵　原	川端浩喜	〃	〃	〃	青木宏樹

少年サッカー写真展
チャリティセール好評！

十二月十四日より三日間、清水銀座会館で清水よみうり会主催、清水サッカー協会協力で開催の、少年サッカー写真展は連日少年たちでにぎわい、会場に展示された写真のチャリティセールの売上金三万円は、読売新聞社を通して清水市内のめぐまれない子供たちに歳末たすけあい運動として贈られた。

編集ノート

賀春◆年頭から暑中見舞の話になるが、去年の夏はPCBや水銀汚染魚を話題にした。そして年末には物価暴騰と石油危機が大きな話題となった◆正月早々から年賀状に泣きごとを印刷する訳にもと何はともあれ、おめでとう、という賀状になった◆本紙の印刷費も14号あたりから大幅に上り始め、前途は多難である。こんな時代だからこそサッカーニュースは必要なんだよと励ましてくれる人もいるが、大新聞並の減頁という手も使えず、部数を半分にけずれば簡単だが、こんな暗い世の中だから貴重なんだといってくれる人もいる。今年も明るい紙面を皆さんにお届けしたいものです◆年末のサッカー写真展にご協力下さった、皆さんありがとうございました。本年もよろしく。

（二本木）

A少年ジュニァー

13日清水
13日岡
15日清水
19日江尻
20日
15日江尻
13日有度二

興津スポーツ少年団サッカー部J
不二見キングJ
清水小スポーツ少年団A
タッピーズ
不二見ファイトイレブン
高部３年A
有度一C
清水小スポーツ少年団B
不二見へたくそJイレブン
小島サッカースポーツ少年団

辻　　D
庵原サッカースポーツ少年団C
飯田ファイターズ３年
有度二サッカースポーツ少年団C
袖師サッカースポーツ少年団B
飯田ファイターズ２年
不二見ピンクジュニアーイレブン
高部３年B
岡小ジュニアー
庵原サッカースポーツ少年団B
有度二B

庵原サッカースポーツ少年団A
辻　　C
有度二サッカースポーツ少年団
江尻サッカースポーツ少年団B
有度一A
袖師サッカースポーツ少年団A
西河内サッカースポーツ少年団B
不二見ゴールデンジャガー
入江サッカースポーツ少年団
辻　　B

有度一B
三保一小ソフトボール少年団
江尻サッカースポーツ少年団
蒲原東小
高部４年
東海大附小サッカー部ジュニアー
和田島ジュニアー
西河内サッカースポーツ少年団A
辻　　A
小河内ヤンチャーズ
飯田ファイターズ４年

5年の部

13日15日20日

庵原会場
庵原

辻サッカースポーツ少年団A
入江サッカースポーツ少年団
由比町サッカースポーツ少年団
岡サッカースポーツ少年団
庵原サッカースポーツ少年団B
袖師サッカースポーツ少年団
不二見５年アストロイレブン
清水サッカースポーツ少年団
西河内サッカースポーツ少年団
富士川一小サッカー部B
有度二サッカースポーツ少年団

高部会場
高部

高部サッカースポーツ少年団
蒲原西小５年
辻サッカースポーツ少年団B
中河内サッカーチーム
小島サッカースポーツ少年団
庵原サッカースポーツ少年団A
浜田サッカースポーツ少年団
ハチャハッコクラブ
有度サッカースポーツ少年団B
飯田ファイターズ
江尻サッカースポーツ少年団

女子チームの部

12日
13日
15日
20日

飯田ファイターズ
江尻女子サッカー部
西河内サッカースポーツ少年団女子
中河内女子サッカーチームB
不二見ストーレングイレブン
清水小サッカースポーツ少年団
興津スポーツ少年団女子
和田島小ファイブ・フィフティーン
小島サッカークラブ
（小）3
高部
5
三保一小女子サッカー部
（小）4
辻
2
不二見小６年５組
中河内女子サッカーチームA
4
庵原小学校女子サッカー部

1
6

女子ジュニアーの部

①は小島会場その他は飯田小

西河内小４年
2
庵原小女子サッカー部
（小）1
はやぶさチーム
コンドルチーム
（小）2
興津スポーツ少年団女子
3
和田島女子ジュニアー

6年の部

13日辻
15日辻
19日辻
20日市営
13日三保一
15日入江
13日入江
13日有度

西河内
東　海
三保一６の２
小　島
不二見B
三保一SC
清　水
蒲原西
辻　A
飯　田
興　津
三保一SSA
中河内
富士川A
庵原ソフト
由　比
浜田B
和田島

入　江
三保一ソフト
蒲原東
有度一B
不二見アストロ
岡
浜田A
袖師A
江　尻
庵　原
有度一A
三保一SSB
蒲原西６の１
高　部
辻　B
袖師A
駒　越
有度二

中学生の部

12日　13日　15日　19日
20日
市営グランド
19日　15日　13日　12日

六　中
三　中B
五　中A
一　中A
由比中
興津中B
五　中C
両河内中
四　中B
八　中B
庵原中A
興津中A

蒲原中
七　中
四　中A
八　中A
一　中B
五　中B
三　中A
富士川一中
庵原中B
五　中D
興津中C
袖師中

1年の部

両　中
庵　中
二　中
一　中
八　中

五　中
四　中
六　中
由比中
興津中
三　中

第５回静岡県教育員サッカー大会
清水工高初優勝

県下三十六チームの参加で行われた第五回静岡県教育長杯争奪、教職員サッカー大会は十二月二日、清水工業高校で行われたが地元清水工高の若手先生方がハッスル、見事優勝をかざった。

今年は各試合とも接戦が多く、特に準決勝は二試合ともPK戦で決まるきわどい試合であった。清水工高は望月英夫氏を中心に、まとまった走るサッカーチームでバックの中心島田氏がほとんどの試合を無失点におさえたのが勝因とみられる。

なお準決勝で敗けた沼津工高、浜松城北工高、島田商高もファイトあふれるプレーがみられ好感のもてるチームであった。

準決勝
沼津工0－0浜松城北工
清水工0－0島田商
（ともにPK）

決勝
清水工1－0沼津工

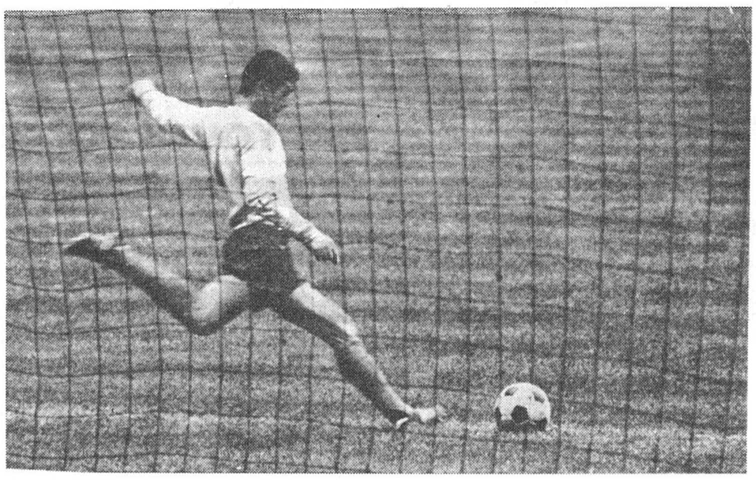
第五十三回 天皇杯決勝
元旦NHKテレビで！

サッカー日本一を決める第五十三回天皇杯サッカーは十二月二日より二十六チームによる中央大会が始まり正月元旦に決勝戦となる。

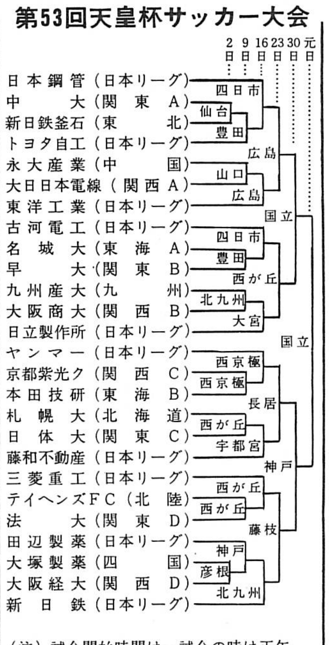
本年はオープン化二年目として七百九十チームが参加、この数は年々増えるであろうが今年も日本リーグ勢が強く、特にリーグ優勝の三菱と日立の力が充実している。

これを追っているのがヤンマーと藤和。特にヤンマーとは準決で対決することになりこれまた山場であろう。

三菱ゴールキーパー横山がけがのため新人田口が出場するが、これが大試合でどんな結果になるか注目したい。元旦はNHKTVで国立から放映される。


▲写真はケガで出場できない三菱の横山GK

第53回天皇杯サッカー大会



（注）試合開始時間は一試合の時は正午、二試合は午後2時、決勝は午後1時

ユースサッカーコーチ
中学生強化討論会

出席者
矢沢（四中）
苦米地（清商）
望月（東海小）
小林（八中）
鈴木（一中）
堀田（協会技術委員）

記録 望月（高部小YCS主任）

全清水中学
浄見監督の反省…九月中旬に結成されてから各チームに三名ずつ選手を出すよう依頼し、十月十日、十三日に練習というより選考会を行ない、選手十一名、補欠六、七名を決定した。

試合は前半2―0、後半0―1から2―1、このへんまでは中盤の形もよかったがその後バックが乱れはじめ、結局4―4の引き分けに終わった。

原因は守備陣の弱体化を突かれた形になったためで、あてにしていた興津中のキーパーに当日も連絡がつかなかったことに一因がある。（加藤先生が国体出場の為）

監督、コーチがその選手のことをよく知っていなければなかなかできないし、練習を積み重ねていく必要も感じた。

矢沢 やはり練習の日数がなかったし、チームを編成するのにも十分でなかった。

苦米地 練習を見た感想は、後半にバテていたし、出だしとしてはこのチームが不調で、どう育つか心配なところも見えたが。

望月保 それは根本的な技術の問題というより、戦術的な指導がたりないためで（たとえば攻めに対しては1対1より1対2の守りで固める方法をとる）特に攻められた時、あぶない感じがした。

堀田 今の意見は、選抜方法に問題があるとみているのか、それとも中学生指導の中に問題があるとみているのか。

望月保 中学生指導の方で、個々の選手に戦術的なことを教える必要があると思う。

堀田 スキル的素質がないのか、ゲームの経験がなくて育っていないのかという面からも、この問題を突いてみよう。

苦米地 三年生が七、八月までやっていて、日常玉ひろいばかりの二年生で、主体的な練習はやっと始まったばかりというところにも原因がありそうだ。

矢沢 子ども同志が、相手の名まえもくせも知らないということも原因の一つだろう。

堀田 望月君の言った意見は、小学生の段階から既に問題にしていかねばならない。しかし不慣れな為の苦戦か、中学生の指導の問題かを考えるより、今の段階では、この全清水の体制ができてきたということに対して、他の中学の先生は、どの様な反応を示しているのか知りたい。

技術的な面は、浄見先生を中心に、スタッフの研修をしながら進めなければならないしまた、全清水を作って、難しい、おっくうだという反響はなかったか聞きたい。

小林 指導者のいるチームは、それほど反響はないが、指導者のいないチームでは頼りにしている。

苦米地 もう少し根は深いのではないか。全清水の様な形態の選抜チームは、中、小、高に進むに従って、次第にシラけてくる。

中学生は、自我意識が強くなる時期なので小学校の様な仲良し意識はない。出てくる以上はチームの主軸であり、自分のチームメイトに対する遠慮や、普段のキュウ敵意識がある。

堀田 解決の方法としては、指導者のお互いの結びつきを強くすること。YCSの会合に出てきてもらって理解してもらう。中体連の会合の時、全清水のことを知らせ啓蒙する。

苦米地 チームのモラルの確立が大切なのではないか。

堀田 試合で力をのばしきるにはどうしたらよいか。また、全清水中学の目標は何かを探らねばならない。そこでうまくなることは大事だがそこが、指導者の力によって育てるこのである。

モラルは、サッカーの選手なのだから、やはりゲームの中で育てられていくべきだと思う。

小林 たとえば、試合に遅れてきたりする子は、やはりなじめなかったのではないか、練習の様子や、参加態度からそう思う。

苦米地 来年八月の全国大会に向けて、エンジンをかけたわけだが指導者側に八月迄の練習計画の原案がありますか。

浄見 何時、どの様に練習するのか、チームの目標は何なのか、今のところ闇の中に居るようです。

堀田 関西フェスティバルを狙ってということが単純で明快。チーム作りは回数を重ねないとできないし、場合によっては合宿も考えねばならない。

浄見 八月の中体連、（県大会、中部大会）との関連はどうなるのか、単独チームから全清水に選手をだしてくれるか否かが心配である。予定が八月迄空白なのは寂しいし、練習試合も必要だろう。

苦米地 小目的を、三つか四つ持った方が良い。

堀田 何の為に全清水を作ったのか、最初の発想は大会にでるためでなく、清水の中学生に刺激（あこがれ）を与えるためだった。

単独チームの強化から言えば、邪魔になるかもしれない。しかしそうあってはならない。指導者が喜んで選手をだすようにならなければ成功しない。

全清水のスタッフの先生は、まわりに声をかけながら年間を通してやっていかねばならないから大変ではあるが、小学校の全清水においては自分のチームを持ちながら、全清水を育てることは義務としてとらえていかねばならないと考えている指導者が多い。

鈴木 中学校の内部では、中体連が最も重要視される。全清水への参加により、自分のチームの戦力が落ちることを懸念する向きもある。

苦米地 チームから選手が離れることはマイナスにならないと思う。たとえば嘗て国体に行って夏休みの中旬を抜けられるのは困るから国体に選ばれない方が良いと、思ったこともあったが帰ってくると人間的にも相当成長していたりするので、長い目で見ればチームの為にもなるのだ。

鈴木 全清水に選ばれたならやはり、その様なことがなければならない。

浄見 大会が八つもあるが為に、全清水として練習するのは、九月のあの頃しかない。練習する期間も少ないし、ただ大会にそなえてと言うだけでは辛い。

苦米地 技術委員が事前にあらゆる大会において、目ぼしい選手を抜きだしておいて、選考の際その委員の声を、重要視する態度も考えられても良い。

堀田 日本蹴球協会も全国組織的な発掘を考えている、中学以上の選手の技術、年令、住所、氏名を記録し、技術委員がその選手の経過を、みていこうというものである。

全清水のメンバーは固定化してはいけない。伸びないものは落とすことも必要だ。しかしその際理由を告げなければならない。

鈴木 選手は、チームの代表で来ているからまだその影に埋ずもれている者もいることだろう。今度の試合で使った者には、フォワード系統が多かったが、守りの弱さにつながっている。

苦米地 全国大会に出るのに、恥かしくないチームに育てあげるためにこれから様々な形で、援助しなければならないがさしあたり、年間行事で整理できるものを出来得る限り切りつめたり、予算をたててもらわなければならない。そういうアドバイスを具体的に出してほしい。

堀田 学校で参加した場合は、でないが協会関係の大会の場合、小中学生のスポーツ少年団には、千五百円、一般二千円の交通費（急行使用の際の実費の半額）の補助がでる。清水市のみの社会体育振興の一方法である。

小林 試合数が多いという問題を皆に具体的に説明せねば、判っていただけないなと思う。

12月スポーツ少年団予選大会
1月JC大会
2月県大会
3～4月杉山杯
5月スポーツ祭
6月教育長杯大会
全国大会予選会
8月市大会
港祭り大会
8月中部大会
県大会
9月各種体育大会
13校連合大会
11月市民大会
新人戦

苦米地 というわけで試合を最初考えた時ほど整理することはできなかったが、こういう試合のあい間をぬいながら、どういう計画、予算をたてていくか考えねばならない。

小林 この日曜日を練習にとろうと年間計画を、たてていかねばならない。夏休み、冬休みの一日をつかうとかせねばならない。全清水の練習の方を重視してもらい、地域の練習試合の時は、メンバーを欠いてやってもらわねばならないかもしれない。

堀田 土曜日の夜のナイターを使ってもらいたい。日曜試合だから土曜日の夜は困るというのでは、しかたがないが。

子どもと指導者が、つながりをもつようになることが必要である。

苦米地 全清水の父母会も、必要となるでしょう。年内に、来年の活動計画のアウトラインがつきますか。

小林 杉山杯リーグの変更の仕方如何によっては、今年中に、一端とらえておいて来年のスケジュールは、三月に決定いたします。

苦米地 中体連のサッカーの会合が、十八日に行われるようでありますから、その際今日の問題を提出し、また同時に全清水についても啓蒙して戴きましょう。

第三回新春招待試合
三菱対全静岡戦
1月27日清水市で

第三回をむかえた静岡招待サッカーも今年も清水市営グランドで、行われるが、日本リーグ優勝の三菱対全静岡の対戦となる。

一、二回ともキャップテンをつとめた杉山隆一選手も今年は対戦相手として招待され、同じく菊川、西子、高田、鈴木、籔竹、と六名の静岡県出身者がいる三菱のため、今年は全静岡に不利な条件がそろった。

日立、ヤンマーの今までの成績は一勝一敗全静岡は日立、山口をキャップテンにヤンマーの堀井、早大の碓井新日鉄の富沢、大塚、鋼管の井沢、トヨタの青山が中心になってチーム作りをすることになるが、県内在住選手も大分使わなければたいへんである。

イングランドからオランダへ

FAコーチングスクール　堀田　哲爾

すばらしい施設、たくましいプレイヤー、湧き出るような若き有能なタレント、そしてアランウエイドを中心とするすぐれたFAの組織を後にして、我々はアヤックスを代表するオランダサッカーの研修へと進んだ。

アムステルダムからバスで五〇分ザイストにあるスポーツセンターは、オランダサッカー協会の持つスポーツセンターで、常になんらかの形でオランダナショナルチームが練習している。ちょうど夏休みの中ばになって少年団の交歓合宿と十六才～十八才の全国選抜者のトレーニングと八月末から始まるプロ一部リーグ審判員の研修、そして我々のコーチ集団と四つの団体が入っているにもかかわらず、センターは静かで人が居ない位広いしきちの中にある森にかこまれたグランドは、公式に四面とれるが少年の交歓合宿は三週間に十試合位を消化する割と楽なスケジュールであった。しかし各国のキャンプ場はテントのまわりが小さなあき地になっていてそれぞれサッカーとドッジボールとボーリングを合わせたようなプレーに朝から夕方まで熱中していた。その中でいつのまにかボールコントロールとびんしょう性や集中力を養うつもりらしい。一日25分ハーフのゲームだけでなく食事の他は色々なスポーツ活動で時間をむだなくつかう合宿であった。

各国はそれぞれマークをつけ、びんや帽子にも自分で書いたワッペンをつけている。スポーツセンターの館長でありサッカー協会副会長のMRエブベルン氏からオランダサッカーの説明を聞く。人口千三百万人のうち百万人がサッカー人口であり約十分の一だといっていた。チームは約四万チーム、土、日にゲームが行われるが年令別、クラス別に分れている。年間試合数は三五試合で八月から五月までがシーズンとなっている。

若者の育成には特に力を入れ全国からオランダ協会が毎年十三才の子を一〇〇名集め、その子の中から次の年は三十二名にしぼり十才の時は十六名にしぼり、協会からプロチームに売る方式をとっている。最初の一〇〇名にはいるのも大変だが、その中から十六名にしぼられるのも非常にむずかしい。しかし選ばれた人間は十六名全てがプロとしての誇りと自己のきびしさを持っており、協会もプロチームももうかるとの話である。

アヤックスのクライフも、カイザーもこのようにして育てられた選手だそうだ。アヤックスの練習場に行くとクライフが銀のうで輪と首にダイヤモンドの首かざりをつけ、いかにもきざでとてもきゃしゃに見えた。練習もニコニコやっている。ところがボールのさばき相手との斗いの時は黒ひょうのようにうごきまわる。ゴール二つを使ったヘディングゲームではせり合いながらボールをパスし、キーパーが両手をあげジャンプするよりも高くあたまをあげシュートする力はオランダ一の人気がある選手であることがはっきりわかった。しかし他の選手にはカイザーの人気が強く、練習にも一人の場が多く、この事点で黒い暗い影が表れていた。（その後スペインに買われる）

▲写真はアヤックスの練習スモールゲーム
中央にクライフ、カイザーがいる

全清水少年と全清水中学
'75年にイングランド遠征計画を発表！

社会体育の少年から社会人までの一本化計画育成に力を入れている清水サッカー協会は、74年新春をむかえるにあたり、将来の構想計画を発表、着々と準備にかかっている。小中高と強化対策は十年を過ぎ、着実に実をむすび現在に至っているが、これを地区スポーツにむすびつけコーチとのむすびつきを強化し、将来学校教育からはなれた場でのスポーツ活動に重点を置く計画である。それには(1)教育的指導者の育成(2)施設の確保(3)資金集め、の三つの問題解決からはじめる事になる。(1)の指導者づくりについては毎年ユースコーチングスクールで30名以上のコーチを育成し、目やすもできているが(2)(3)についてはまったくの白紙であり本年はこの点に重点をしぼる時期に来ている。

一本化と同時に選手一人一人に大きな夢を持たせる事が大切で、本年はさっそく韓国に全清水少年が韓国日曜蹴球団と交歓交流を行うが、五十年度夏にはイングランド少年との交流を推進すべく計画している。

具体的に中学生十三才～十五才少学生十才～十二才の二チームの遠征となるが、ここに高校社会人も入れた上の大選手団結成も夢でなく準備されよう。特に十二才以下の少年団交流についてはイングランドFAのヒューズ氏とも交流の条件についてもふれ、日本サッカー協会を窓口として今後話し合われる事になっているが実現するであろう。現在の四年生と六年生の少年がその対称になるが清水市サッカー協会では選手にふたんのかからない教育的な遠征を考えているので、各団においてもがんばってほしい。（堀田氏）

社会人チームの育成は日軽金をトップにしてその後清水クラブが県リーグ入りとなろうが、清水を代表するクラブとして清水サッカー協会が全力投球し、クラブとしての価値を高めたい。

そのためにも清水市サッカー協会そのものが社会法人化されることが望ましく、七十四年もサッカー協会にとっていそがしい年となろう。

朝日招待サッカー三国対抗戦！

日本サッカー協会は正月、国際サッカー大会の日程と招待チームを発表した。招待チームはジュベントス（ブラジルプロチーム）とステアウアブカレスト（ルーマニアアマチーム）の二チームで、それに対戦する日本側は、日本代表チームと日本選抜チームを編成、四チームによるリーグ戦の大会をもりあげる。ジュベントスはことしパウリスタ選手権に優勝、来年からナショナルリーグに入る事が決っており、ワールドカップブラジル代表選手FWルイス、アントニオがいるチームである。ステアウアブカレストはルーマニアの陸軍スポーツクラブのサッカー部で常にルーマニアリーグ、国内カップに十八回の優勝を記録している名門チームで、昨年西ドイツのバイエルン、ミュンヘンと二回引き分けている。一九七〇年ワールドカップ代表が三人いるがその中では特にルーマニアの星といわれるミッドフィールドプレーヤーのイオンドミ・トルーが知られている。

日程は一月十三日長居、一月十五日国立、一月二十日国立でそれぞれ二試合ずつ行う。一月十五日はブラジル対ルーマニアの試合がみられる。。

朝日招待三国対抗試合日程

1月13日	日本選抜―ジュベントス 日本代表―ステアウア
1月15日	日本選抜―日本代表 ジュベントス―ステアウア
1月20日	日本選抜―ステアウア 日本代表―ジュベントス

少年サッカーとチームプレー
『苦しい時こそ』

十年前古河電工といえばアイスホッケーの王者として全国に制しその名を国外にまでとどろかせたものだった。ところが会社の不振でアイスホッケー部を解散させられた。その際サッカー部も一緒に解散させられそうになった時、当時の部員が自分達の力でやりぬくことを会社と約束し、サッカー部の解散をまぬがれた話は有名である。

その後アイスホッケーは日本リーグ入りまで散々の苦労があったと聞く。ところがこれが現実我々の近く日軽金にも日本リーグ二部での運営ができず会社から見はなされ「はごろもクラブ」としてがんばっている事を聞いて私は声を大きくしていいたい。

たしかに大会社は会社の運営が少し傾くと最もやり玉にあげるものがスポーツ関係の予算をけずることに集中する。重役の交際費を少々けずればそんなものは一発で解決するにもかかわらず、表面的に活動しているささやかな夢を破ってしまう。結果は社員の志気に反映して営業成績はますます悪くなるのがオチである。

このようなとき、最もたよりになるのが自分であり、サッカー仲間であろう。古河電工のサッカー部はこの様などん底からたちなおって今なお日本リーグで大活躍をしているのである。

静岡県でも浜田産業がつぶれて選手は静岡クラブとして励まし合い助け合って東海リーグの門まで来た。浜田の社長がまた丸徳運送としてサッカーを育てたいといって静岡クラブを吸収したようであるが、会社そのものはPRとしての価値を認めているにすぎない。

プレーをするのは選手である。だから、どんな会社が金を出そうが出さなくなろうが、それによってやる気をなくすのは本当のスポーツマンではないと思う。

いま各地で石油問題からくるナイター中止を叫んでいるが、一日十キロワットのわずかな電力で、今の暗くなりかけている世の中で一時間ののびのびとしたナイター使用をなんで中止すべきだろうか。

苦しい時こそ手をつなぎ苦しさとたたかえる心がまえは、スポーツからきたえ育てなくてはならないのではないか。苦しい時こそ、みんながんばろう。（哲）